

高 新 Shinsho 翔

「新宮参詣曼荼羅」の絵解き

10月14日(火)

「観光基礎」の授業で、4回にわけて絵解きの授業を実施した。第1から第4回まで各地で活躍する観光ガイドのみなさんと、第1回は、新宮市観光協会



による「新宮参詣曼荼羅」(9月9日)、第2回は、那智勝浦観光協会による「熊野那智参詣曼荼羅」(9月18日)、第3回は熊野本宮町観光協会による「熊野本宮参詣曼荼羅」、最後は新宮市観光協会の協力により、「熊野勸心十界曼荼羅」(10月14日)の絵解きが行われた。生徒たちは、熊野曼荼羅の世界を体験し、より熊野を身近に感じ「熊野の世界」の歴史や伝統を実感した。

新宮秋祭り「熊野ハシヤ節」

10月15日(水)

体育の授業の一環で実施している3年生の選択科目「生涯スポーツⅡ」の生徒約60名と教職員10名が紀南地方最大規模を誇る秋祭りに参加前に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録推進に向けて作られた「創作踊り」。生徒たちは、授業の中で一生懸命練習した成果を披露し、大勢の観客から喝采を浴びた。



32団体の参加の中では学校参加は本校のみ。生徒は「緊張したが、心一つにして頑張った良かった」と感想を述べた。

熊野と防災「災害時の人の活動」

10月21日(火)

選択科目「熊野と防災」で、外部講師として招いた自衛隊和歌山地方協力本部の高橋2等空佐が「災害派遣を知る」と題し、講義した。講師は、東南海・南海地震対処計画については、約11万人の部隊を集中する計画であることや、全国で災害派遣即応部隊が24時間待機していることを説明した。生徒たちはいつ起こっても不思議ではない大地震への備え「自助・共助・公助」の心構えを再認識し、真剣に聞いていた。本校は県教育委員会から「防災教育拠点校育成事業」の指定を受け、地域防災の担い手として、地域貢献を目指している。



第34回新翔七海祭

10月25日(土)

心配された天気も秋晴れとなり、保護者や卒業生、地域の人々が大勢訪れた。一般開放前のステージでは、合唱、ダンス、踊りなども披露。文化部の展示による生徒の力作や建設技術同好会による「河原家」、「建設機械」の展示も目を引いた。また文化祭実行委員会が招いた白梅保育園の園児も来校し、生徒と触れあった。また格安で新鮮な野菜、魚介類を生徒が販売する「新翔マーケット」や食物バザーも賑わった。今年は3年生にとって商業系学科最後の文化祭。総合学科としては2年目となる。



11月トピックス

- 6日(木).....午後人権映画鑑賞
- 8日(土).....創立90周年式典
- 11日(火)~14日(金).....登下校指導
- 13日(木).....図書館一般開放日、中・高連絡会議
- 14日(金).....保護者授業参観(5・6限)

学校開放月間

- 17日(月).....第2回学校評議員会
- 27日(木).....期末考査時間割発表
- 28日(金).....マラソン大会

